

学会報告

優秀論文審査報告「創刊号から10年間の国際P2M学会誌論文から」

平成28年度第2回理事会・評議員会合同会議
(2016年7月25日開催)で山本秀男選考委員長
から優秀論文賞の集計結果が報告された。

1. 優秀論文の選定方法

- ・対象論文：2006年12月発行～2016年3月発行の学会誌掲載論文(合計：240編)
- ・審査委員(敬称省略)：小原、亀山、久保、白井、谷口、出口、根本、堀口、綿木
- ・選定方法：審査委員が良いと思う論文3編(順位付き)を選定。
- ・審査期間：2016年7月28日～2016年12月17日

2. 選定結果

審査委員から推薦された論文は下表に示す19

編であった。この中から最優秀論文として審議の結果、山本秀男、「イノベーションプログラムのマネジメントに関する考察」国際P2M学会誌 Vol.8, No.2, pp.123-133 が選ばれ、第23回国際P2M学会春季研究発表大会で表彰が行われた。

これを受けて、P2Mジャーナルでは、優秀論文の執筆者による論文解説シリーズを本号から開始することにした。まず始めに最優秀論文賞を受賞した山本秀男による解説からスタートすることにし、順次数報の解説を毎号掲載することとします。解説を読まれて興味を持たれたら、是非論文をダウンロードしてお読みください。

ダウンロード方法については、本号の田隈先生の記事をお読みください。(文責 亀山秀雄)

表 優秀論文の集計結果

選定された論文			
巻	号・頁	論文名	著者
1	No.1, pp.61-70	Mission Driven Approach (MDA) of Managing Complex Projects : Demistifying th	小原重信
4	No.1, pp.17-28	不確実な環境下の価値創造プログラムマネジメント	山本秀男
4	No.2, pp.51-60	P2M Version2. 0におけるコーディネーション機能	山本秀男
5	No.1, pp.1-12	ODA 事業における全体最適化と価値システムについての考察	中村 明
5	No.1, pp.151-160	P2Mに基づくゼミ運営プログラムの実践	高野 渉、田隈広紀、西尾雅年
5	No.2, pp.1-22	P2Mプラットフォームマネジメント文脈と論理：クロスボーダー型協働と超サービ	小原重信
	2011年春季大会pp.16-37	プログラム戦略マネジメントと革新実行の仕組み～実践行動と理論適用の追求	小原重信
6	No.1, pp.15-28	ODA事業におけるステークホルダーマネジメントの実践構造化	中村 明、亀山秀雄、小原重信
6	No.1, pp.61-82	P2M理論におけるPolicy、Strategy、Programの連携～公益事業運営における協	小原重信
6	No.2, pp.63-78	グローバル化する災害復興支援におけるPM体系の役割について～スマトラ沖	中村 明
6	No.2, pp.113-126	P2M理論によるIT産業の水平連携プラットフォームの構築	佐藤達男、亀山秀雄
7	No.2, pp.75-86	企業における研究開発プロセス手法の考案	和田義明、亀山秀雄
8	No.1, pp.49-63	SI企業のプログラムマネジャー育成に関する考察	山本秀男、豊田香、湯野川恵美
8	No.2, pp.123-134	イノベーションプログラムのマネジメントに関する考察	山本秀男
9	No.1, pp.31-42	創出型Webプラットフォームの実装に向けたSNS活用パタンの提案	田隅広紀、大内聡史、中山正行
9	No.2, pp.1-18	異主体間の協同・支援事業による新たな価値創造モデルODA事業からの示唆	沖浦文彦
9	No.2, pp.203-220	R&Dプロセスにおける顧客価値の共創-R&DのためのP2Mフレームワーク	加藤勇夫、楓森博、越島一郎
10	No.2, pp.1-22	ICT投資の戦略的評価マネジメントプロセス構築の研究	上岡恵子
10	No.2, pp.75-92	創薬プログラムのプラットフォームマネジメントの構想	山本由美、山本秀男